

議会だより

おかげさまで



- 石井 要祐
- 久保田秀昭
- 曾宮 良壽
- 西田 陽子
- 下川路 勲
- 平山 弘
- 三角 善彦
- 太田 強
- 宮内 實生
- 竹内 和男
- 矢島 恵子
- 木原 信次
- 大堂 園治
- 山田 隆一
- 市津 広海
- 横山 貴子

議長就任あいさつ



太田 強 議長



石井 要祐 副議長

議長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

5月の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき議長に就任いたしました。

私自身にとりまして限らない光栄と存じますとともに、その責任の重さをひしひしと感じている次第でございます。

議会は、それぞれ主義主張を異にする議員によつて構成されていることは当然であります。私としては、議長としての職務を行うに際しては、中立公正を最大最終の目標として対処する所存であります。

さて、岡垣町は皆さんご承知のとおり、住民投票で自立の町を選択しました。しかし、国の政策により地方自治体は厳しい財政運営を強いられ、岡垣町においても同様であります。

これからの地方行政は、新しい

発想とビジョンが求められています。これからの時代に向かって岡垣町が、町民の皆さんがどうすすまなければならないか、地域住民の皆さんが行政に何を求めているか、さらには岡垣町として何を打ち出していくかが重要であります。

今議会から議員定数が16名となりました。議員一人ひとりの活動が今まで以上に求められるのは当然であります。三位一体の改革から岡垣町でも課題は山積していますが、多様化する住民ニーズに応えるよう執行機関と議会がその職責を果たして、岡垣町の発展と住民福祉の向上をめざし、議長の職を全うする覚悟であります。重ねて今回の選挙において皆様方の信託を受けました私共16名にご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

議会運営委員会



議会運営委員会は、円滑な議会運営を行うため、議会運営に関する全般の協議や調整、議長からの諮問、議案、請願の審査・調査等の活動を行っています。

議会運営委員長

竹内 和男

本議会運営委員会は、議会を円滑かつ効率的に運営するため、3つの常任委員会（総務・文教・経済）とは別に地方自治法（百九条の二第一項）の規定にもとづき、条例で設置されています。本委員会の権限は、大きく分けて3つに分類されます。

①議会の運営に関すること（会期及び会期延長の取り扱

い他23項目）

②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項（会議規則、委員会条例の制定、改正他2項目）

③議長の諮問に関する事項（議長の臨時会の招集請求に関する事項他6項目）など調査・審査は多岐にわたり、職責の重大さを感じております。

さて、地方分権が一層進展する中、地方自治体の環境変

化を見据え、岡垣町の構造改革を更に進め、住民の皆様へのニーズの多様化、少子高齢化に対応できる議会運営を目指

す覚悟です。併せて、委員諸氏ともども全力で住民の皆様の負託にお応えしてまいります。

総務常任委員会



総務常任委員会は、企画政策室、総務課、管財課、情報推進課、地域づくり課（地域振興、商工及び観光に関する事務を除く）、税務課、会計課の所管事項及び他の委員会に属さない所管事項に関する議案や請願等を審査する活動を行っています。

総務常任委員長

木原 信次

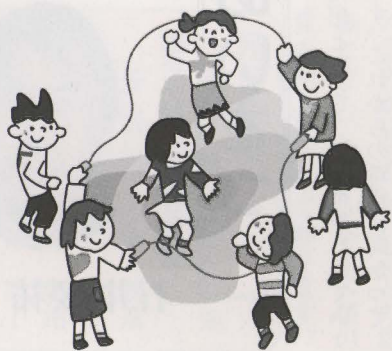
岡垣町行財政構造改革プログラムに基づく、町政の執行がなされています。

予算の審査をなす総務常任委員会は、地方自治法での「地

方公共団体は、その事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならぬ」との規定を常に考慮し判断をしております。

また、町の将来を計っていく企画政策室、地域づくり、情報推進、税務、管財等の諸課を担当します。国からの交付金、補助金が減額されるなか、町の発展性を期し、自主財源の確保を目指していかなくてはなりません。町の利益追求と民生の安定とを調和していくことはいうまでもありません。

委員会の果たす役割、委員の務めが岡垣町民のためになければならないことを確認し、委員会の運営に努めてまいります。



文教厚生常任委員会



文教厚生常任委員会は 環境共生課（新エネルギーの開発検討、浄化槽及び宅地開発の環境アセスに関する事務を除く）、住民課、健康福祉課、こども未来課、教育総務課、社会教育課及び公民館の所管事項の議案・請願等を審査する活動を行っています。

文教厚生常任委員長

下川路 勲

急速な社会変革の進む中で、「夢ある子どもを育て、充実した福祉」を求めることは容易なことではありません。

今こそ発想の転換をし、皆様様の声を大切に、真摯に受け止め最小の予算で最大の効果を願いに、委員一丸となって取り組まねばと思っております。しかし現況は厳しいことばかりでもあります。子ども

の出生率は下がり、世界一の長寿国となりましたが、経験豊富な生活の知恵者である高齢者のご意見や考えをお聞きすることが大切かと思っております。

当委員会の担当範囲は広く、重要課題山積みで身近な問題ばかりです。複雑多岐な問題でも整理しながら英知を結集し、実りある委員会としたいものです。しっかりとしたい説明責任を果すことも私共

の責務でもあります。立場の違う執行部の意見や考えを尊重しながらも、議論に議論を重ねて、「住んでよかった町づ

経済建設常任委員会



経済建設常任委員会は、農林水産課、建設課、上下水道課、地域づくり課（地域振興、商工及び観光に関する事務）及び環境共生課（新エネルギーの開発検討、浄化槽及び宅地開発の環境アセスに関する事務）の所管事項の議案・請願等を審査する活動を行っています。

経済建設常任委員長

大堂 國治

国の多額の借金財政が地方へのしわ寄せ現象として、大きく悪影響を及ぼしています。限られた財源を有効に活用するためには、専業の選別

くり」に向かって委員会活動を一層活発にし、皆様の負託にお応えします所存であります。

自由化や国際化は加速の傾向にあり、グローバルな視点と人類に貢献する役割と責任を果たす感性を持つことが振興に直結することになります。

ライフラインを守ることも行政の責務ですので、おいしい水の確保や給排水施設の安心確保も大切な事業です。住民ニーズに応えるためには、現場の実態を正しく把握することが大切ですので、調査、研究を実践します。

当委員会が抱える課題は山積みしており、委員一丸となって住民の負託にこたえていく決意でありますので、ご意見やアドバイスをお願いいたします。

と効率化が求められています。

基幹産業の農漁業を守るためには、国や県が進める新しい施策に添って、関係者の理解と協力を仰ぎながら改善の努力をする事が肝要です。



岡垣町議会議員一般選挙後の臨時議会が、5月8日開催されました。正副議長選挙をはじめとして、常任委員等の選任が行われました。

議案第38号

監査委員の選任について
議会から宮内實生議員に決まりました。



宮内 實生 議員

議案第39号

岡垣町税条例の一部を改正する条例

高齢者等居住改修住宅（バリアフリー）に係る固定資産税の減額措置の創設などを主な内容とした改正の専決処分については、賛成多数で承認しました。

発議第6号

議会広報特別委員会設置に関する決議

全員賛成で可決しました。

○遠賀・中間地域広域行政事務組合議会議員

久保田秀昭

曾宮 良壽

矢島 恵子

○福岡県遠賀郡芦屋町外二カ町競艇施行組合議会議員

太田 強

三角 善彦

宮内 實生

○福岡県介護保険広域連合議会議員

太田 強

○福岡県介護保険広域連合遠賀支部運営委員会

太田 強

下川路 勲

○農業委員会委員

山田 隆一

市津 広海

前号の訂正とおわび

平成19年度一般会計予算の「山田校区コミュニティ設立助成に約180万円」は、「地域コミュニティ設立助成に約180万円」の誤りでした。訂正しておわびします。なお、山田校区への地域づくり交付金は100万円です。

どうぞ
傍聴席へ

次の定例会の開会は
6月11日の予定



渡辺書記 占部事務局長 広渡係長
〈議会事務局職員〉

議会広報特別委員会



議会広報は、住民に議会と町政への関心を深めてもらうことであり、議会の審議・活動状況を広く知らせる役割を担っており、その充実強化に努める活動を行います。

議会広報特別委員長

三角 善彦

議会広報特別委員会の体制となり3年目を迎えました。

議会だよりは、議会で協議または審議し、決定した内容を分かり易く正確に伝えることであり、議員の宣伝のために議会だよりを発行している訳ではないという前提を踏まえて、今後も編集活動に取り組んで参ります。

さて、開かれた議会の実現のためにはどのようなことが求められるのでしょうか。例えば、議会中継、岡垣町議会単独のホームページ開設などの

発行責任者

議長 太田 強

議会広報特別委員会

委員長 三角 善彦

副委員長 横山 貴子

委員 石井 要祐

委員 西田 陽子

委員 平山 弘

委員 竹内 和男

環境整備、さらには、議会報告会や住民懇談会を開催し、町民の皆さんとの対話の場を持つこと等が挙げられます。

議会側からの情報発信を求める声が高まっているとの認識に立ち、今後も議会広報の質の向上に努めて参ります。